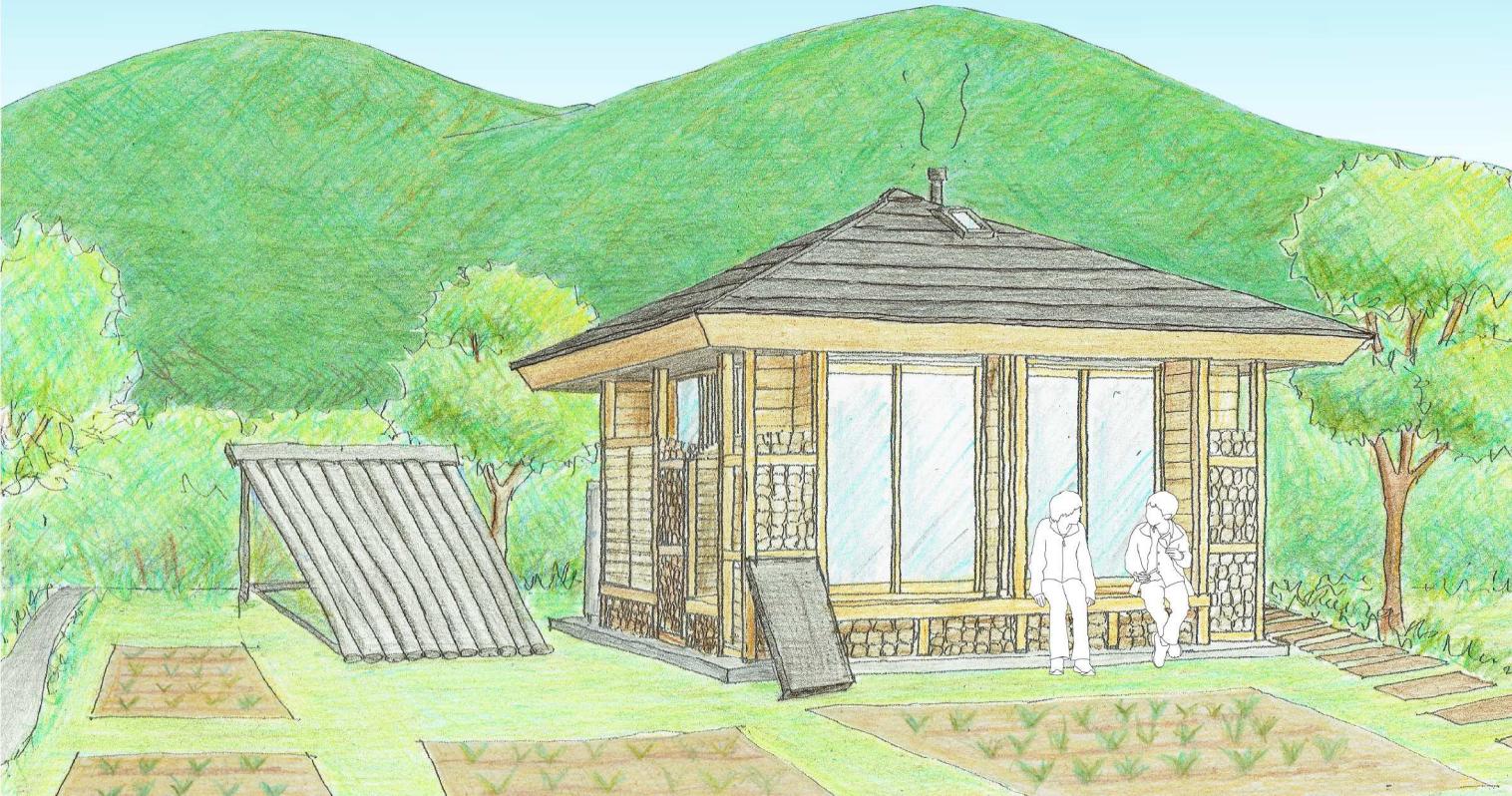
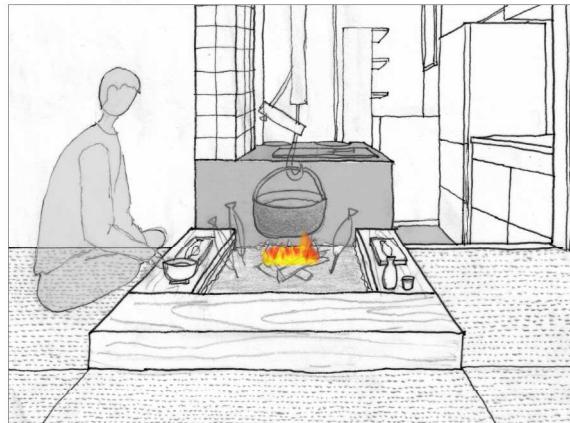


# キャンプ時間を過ごす家

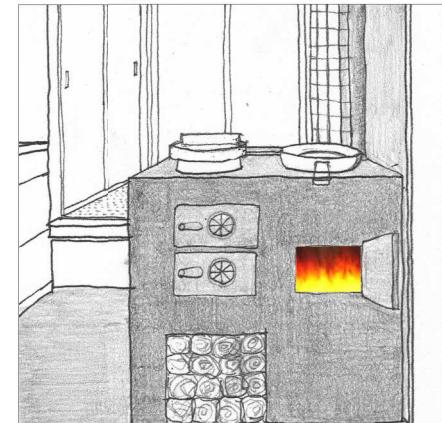
～火を楽しむ・自然を味わう～



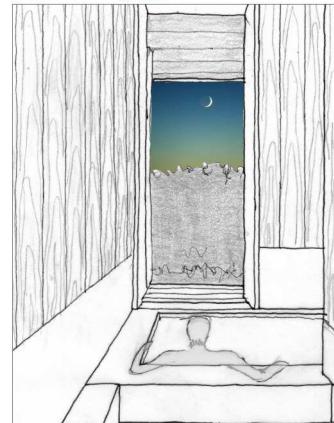
囲炉裏の火で



かまどの火で



窓からの景色で



現在の都会において、自然を感じる、火を感じながらの暮らしがほとんどなくなってしまった。

自然に触れ、火を感じたくなったら…[キャンプへ](#)

都会の喧騒を離れ、緑豊かな自然と触れ合う、火をおこし、みんなでご飯を味わう、火を見ながらみんなで語らう時間がキャンプにはあります。

ゆったりと自然の中での時間が流れていく。

小菅村は美しい自然に囲まれたキャンプ場が数多く点在し、キャンプに適した場所です。

ただ、夏場はいいが冬の寒い中のキャンプはハードルが高くなります。キャンプはあくまで一時的なイベントであり、非日常です。

そんなキャンプ時間を小さな家に詰め込んでみる。



「キャンプ時間を日常へ」

「キャンプ時間を過ごす家」では火を楽しみ、自然を味わうだけでなく、日照時間の長い山梨県の特性を活かした太陽熱、太陽光の有効利用、薪等豊富な森林資源を調理やエネルギーとして活用し、自然と共に「暮らし」を提案します。また災害時においても暖かさを確保できる休息の場となります。

キャンプ時間をどう小さな家に詰め込むか…

囲炉裏の火で

囲炉裏の火で温められた料理を食べ、部屋全体が暖まり、囲炉裏の火を見ながらの会話はキャンプファイヤーのような温かな時間が流れます。

かまどの火で

かまどの火を一生懸命調整しながらつくるごはん。てまひをかける時間がごはんをより美味しくします。キャンプと同じ様にごはんを食べることと共につくることも楽しめます。

窓からの景色で

夏場は浴室の戸を開けて外の空気と美しい夜空を、冬場は窓越しに美しい夜空を眺め、小菅村の大自然を味わいながらの入浴は格別です。